

# 総合計画第2期基本計画の 中間点検と今後の推進

登別市総合計画第2期基本計画（以下『基本計画』という。）

は、平成8年に策定した登別市総合計画基本構想に定める『人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市のぼりべつ』の実現を図るため、市民ニ

ズアンケート調査

の実施や、市民検

討委員会の設立な

ど、市民などの意

見を交えながらさ

まざまな議論を経て

策定したもので、第

1期基本計画（平成

8～17年度）に引き

続き、平成18年度を

初年度としながら、

平成27年度までの10年

間に推進していくべき

施策の基本的な方向を

示す計画です。

この計画の策定から

5年が経過し、中間地点

である平成22年度において、

計画の進捗状況や施策などの課

題、今後の方向性などを整理する

ために中間点検を行いました。

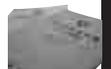


## これまでの5年間

基本計画では、施策ごとに『目標への接近度を計る指標』を設定し、基本計画の最終年度である平成27年度の目標値に向けた進捗状況の把握と評価を行います。

この指標の進捗状況とあわせて、前半5年間の事業内容などを勘案して、44の施策を総合的に判断します。

基本計画の中間点検における施策（44施策）の総合的評価としては、約



## 目標への接近度を計る評価分布

『達成』	.....	34件
『進展』	.....	30件
『維持』	.....	20件
『遅延』	.....	27件
※データなし（事業終了など）	...	4件

上記指標の進捗状況に事業内容などを勘案して、

## 総合的に評価

### 44施策の総合評価

『達成』	.....	7件	} 28件
『進展』	.....	21件	
『維持』	.....	16件	

※達成という評価は、現行の指標基準などに基づき判断した評価であり、『達成』＝『終了』ということではありません。現行の指標基準を維持、またはより高度な数値に変更のうえ、引き続き施策の推進に努めていきます。

計画はおおむね

## 『進展』

64%の28施策が『達成』または『進展』となったことから、基本計画はおおむね『進展』していると評価しました。なお、指標における進捗状況や総合的な評価基準については、『達成』『進展』『維持』『遅延』の4区分で検証しています。『達成』は既に目標値に達成している状況として、『進展』は目標値に向けて推進している傾向が見られる状況として、『維持』は基準値を維持している状況として、『遅延』は基準値を下回る状況として、それぞれ区分しています。